

シリーズ 99 ふるさと 笠間に生きる人たち

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



会員のみなさん



代表者(小沼 健さん)より

「押辺ってどこだ?」とよく聞かれますが、押辺地区はJR岩間駅から東に約4km、廻沼川の南側に位置し、主に米や栗を作っている地区です。

当協議会は、農村環境の保全等を目的に上押辺地区、下押辺地区の農業者、自治会などによって組織され、平成19年より活動を続けています。近年、農業者人口の減少、高齢化、また食料自給率の低下が懸念されている中で、農村を取り巻く農業環境、農村生活環境の向上を目指しています。

今後も農地・水・環境の保全や農業者と非農業者、世代間の交流など地域住民との関わりを深めていこうと考えています。

みんなで守る豊かな水土

私たちは、農道の草刈り、水路の泥上げ等、農業資源の保全活動に加えて、上押辺・下押辺の二地区で分担をして農村環境保全のための活動を行っています。

上押辺地区では野口池湿原(県自然環境保全地域)に生育している希少種のモウセンゴケやいずれも絶滅危惧種であるミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ等の保全・管理に努めてきました。8月22日には県環境アドバイザー吉武和治郎さんのご指導のもと、外来種のナガエモウセンゴケの除去作業を行いました。

また、下押辺地区では荒廃した農業用地の整備・景観形成に取り組み、今年は休耕地にひまわりの栽培をしました。9月には1万本のひまわり“キッズスマイル”が咲き誇りました。

押辺地区 環境保全協議会

代表者 / 小沼 健 (押辺)
設立 / 平成19年4月
会 員 / 165人



吉武さんの講演



外来種の除去作業



希少種生息地の木道設置



咲き誇る1万本のキッズスマイル